

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌新琴似校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指定基準上、問題の無いスペースが確保されています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			指定基準上、問題ない職員数が配置されています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		エレベーターや、玄関に段差が無い等の状態ではありますが、トイレやビル入り口等はバリアフリーを考慮して設計されてはおりません。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			新しい個別支援計画を作成する際は、スタッフ全員で意見交換を行っております。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			事業所内評価を実施する事で、皆様にお応え頂いた内容を精査し、より良い環境づくりに役立てていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			集計結果は、クラゼミ各校舎のトップページに記載、公開しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は現在、行われておりません。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			コロナ禍においても、Webを利用した全体会議や、事例検討会を定期的実施し、スキル及び知識の幅を広げています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ご利用開始に際し、必ず意向やお求めになっている事をお尋ねし、個別支援計画に反映させるようにしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			個別のSDQファイルを作成したり、NCプログラムの導入を行っております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			イベントなどが出来ない環境においても、如何にマンネリせず楽しめるか等、日々話し合い、協力して行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			療育内で良いものがあれば、積極的に職員間で紹介し合い、作成したりと工夫をしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			夏・冬休みは、学校課題を持参して貰い、対応しています。また、コロナ禍において登校出来ない事情を抱えたお子さんにも、教育委員会の課題等に対応しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	現在、感染予防の観点から小集団になるイベントを控え、個別支援のみの療育をしています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			気になる事は、朝礼で確認し情報共有しています。足りない時は、運営会議を行っております。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			すぐにスタッフ全員の共有が出来ない場合もありますが、スタッフと児発管との間での共有は必ず行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			担当指導員が、その日の活動を必ず指導報告書にまとめています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			毎月、定期的にモニタリング会議を行い、支援計画の見直しを実施しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			サーキット運動を取り入れてみたり、指先の訓練を兼ねた制作作業を入れたり、メリハリのある個々に合った適切な個別支援計画を立てて、実行する事を心がけています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管と共に、担当指導員も同席出来る様にしてしています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者の意向や、必要性に応じて連絡を取り合い、連携会議にも参加しています。また、本校では、送迎は行っていません。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		本校には、医療ケアが必要なお子さんは、通所していません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			ご希望や、必要に応じて各機関と連携をし、支援会議を行う等、情報共有に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	—	—	該当なし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			関係機関を招いた定期研修が行われています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	通所児童のご兄弟との交流は、時々ありますが、保護者様のご意向として望まれていない方が多いので難しいと考えています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域活動や集まりに積極的に参加、参画しています。
保護者との連携	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			療育中や、療育後等、日常の様子をお聞きたり、療育内容をお伝えしたりしています。また、連絡帳も取り入れています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	その場に応じた個別のご相談には応じておりますが、ペアレント・トレーニングを実施出来る職員がおりません。支援技術を学ぶ機会が求められていますが、中々実行に移せていない現状があります。
保護者への	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご契約の際に、分かりやすい様に丁寧にお伝えする様、心がけています。

説明責任等	⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		児童の療育時の待ち時間を利用したり、お時間のある時に来所頂く等、出来る限り丁寧な対応が出来る様に努めています。	
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	お子様だけでなく、人を集める活動は控えています。ご要望に応じて、交流を持てる様に同じ時間帯の療育にする等は配慮可能ですので、ご相談を頂けると有難いです。
非常時等の対応	㉒	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			重要事項説明書にご署名、ご捺印を頂く際に説明をする事としています。苦情は、基本的に児発管がお受けしていますが、札幌市の障害福祉課でもお受けしています。
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			新しい情報などは、紙面でお伝える事はありませんが、ホームページには、1か月に2回を目安に更新する様にしています。また、元氣さーちやリタリコ等でも情報発信をしています。
	㉔	個人情報に十分注意しているか	○			帰宅の際も掛かる戸棚や、引き出しの中へ収納しています。
	㉕	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さんの特性に応じて対応し、保護者には、必要に応じて連絡ノートを使用しています。
	㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	前回までは、イベントも行われていた為、地域との関わりがありましたが、コロナ禍においてイベントを自粛している為、地域との交流が無い状態にあります。
	㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時、災害内容に応じた避難場所の説明をし、連絡手段として災害伝言ダイヤルのご案内をしています。毎月、定期的に行われている防災訓練に関しましては、ブログに掲載する様にしています。
㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に災害内容を変えて防災訓練を実施し、記録に残す様にしています。	
㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			全員が参加出来る研修を実施しております。	
㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束の必要性が想定される状況にありません。	
㉛	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	アレルギーチェックはしていますが、現在本校では食事を摂る機会を設けておりません。	
㉜	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットのファイルを作成し、事業所内に保管しています。また、HPにて全国のヒヤリハット集を作成し、公開している為、いつでも閲覧可能となっています。	

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」校

保護者等数（児童数）： 41（ご兄弟は1家庭として纏めています）

回収数： 19 割合： 46%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	5		中学生には、丁度良いが、未就学児には狭いかな…と言うご意見や、もう少し広くても良いかなといったご意見もございました。職員の机をもう少し下げられれば、多少の空間が確保出来るかもしれません。調整してみようと思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1		先生の移動が多い。特性のある子どもにとって環境の変化は慣れるまでが大変なので、そういった所を汲んで欲しいとの指摘がありました。本当に申し訳ございません。出来るだけ、職員の定着を図り、移動の無いようにと、今後も努力致します。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	5		※回答なし1件 トイレやビル入り口等のバリアフリー化は、難しい状況です
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	19			個別支援計画を立てる前の段階で、担当の先生だけでなく、校舎全員の先生で話し合い、計画を立てています。各先生方で行う、その情報共有を有難いとお言葉を頂き、これからも頑張ろう！と、決意を新たにしています。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	19			療育内で良いものがあれば、積極的に職員間で紹介し合い、作成したりと工夫をしています。更に良い療育を目指して向上出来る様に努めます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	8	5	イベントを開催していた際には、利用者さん兄弟など障がいのお子様とも一緒に活動する事もありましたが、現在はコロナの状況も鑑みて、誰かと一緒に何かをするという活動をしないようにしています。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19			今後分かりやすい丁寧な説明が出来る様、努めて参ります。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1		中々、お会いしてお伝えするのが難しい場合は、連絡帳やお電話、お手紙にてお伝えする様にしています。これからもお子様の成長と一緒に喜べる事業所でありたいと思っています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19			これからも皆様の思いや気持ちに寄り添って、解決のきっかけになれる様に尽力して参ります。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	12	4	お子様だけでなく、人を集める活動は控えています。ご要望に応じて、交流を持てる様と同じ時間帯の療育にする等は配慮可能ですので、ご相談を頂けると有難いです。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	2		※回答なし1件 契約時、重要事項説明書にご署名、ご捺印を頂く際に説明をする事としています。苦情は、基本的に児発管がお受けしていますが、札幌市の障害福祉課でもお受けしています。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19			今後も、連絡帳を利用する等の配慮を続けて参りたいと思います。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	7		※回答なし 1 件 新しい情報などは、紙面でお伝えする事はありませんが、ホームページには、1 か月に 2 回を目安に更新する様にしています。また、自己評価の結果も各校舎のトップページに載せる様にしています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	17	2		契約時の個人情報同意書にご署名頂いた際に、お伝えしている通り、これからも取扱いには十分注意する様にしていきます。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	1		緊急時対応は、契約時にご説明し、感染症対策などは、掲示板に貼ったり、マニュアルを保護者様の待機場所の壁にかけたりしています。全てのマニュアルが揃ったファイルもあるのですが、皆様のお手の届く場所にはございません。ご要望があれば、いつでもお見せする事は出来ますので、お声がけ頂けたら有難いです。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	5		様々な災害を予想した訓練を定期的に行っています。また、療育に差支えない程度に、お子様にも参加をお願いする事があります。訓練をした際には、ホームページでお知らせする様にしています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	17	2		今後も、もっと『来たい！』と思って貰える場所となる様に皆で努力を続けて参ります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	18	1		事業所としても、常に成長する努力を続けて行きたいと思っています。また、働く私達も少しでも良質な支援が出来る様、研修なども定期的に参加する様にしています。皆様からの、もっとこうしたら良いのに…などのご要望がありましたら、是非お声がけ下さい。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。